

大気移動測定車を更新しました

<大気環境担当>

大気移動測定車とは



大気移動測定車とは、大気汚染物質を測定する機器を搭載した自動車です。測定車を移動させることで、その地点の大気汚染状況を把握することができます。

徳島県では、県内各地22ヶ所に環境大気測定局を設置し、大気汚染の常時監視をしています。これまで、よりこまかく県内の大気汚染状況を把握するため、大気移動測定車を活用し、大気汚染物質の測定を行ってきました。このたび、大気移動測定車を更新し、平成27年4月からは、社会問題として注目される微小粒子状物質（PM2.5）の測定値も徳島県のホームページで公開しています。また、新たにPM2.5の成分分析や環境放射能等の測定機器も搭載しました。

測定項目および測定装置

- 二酸化窒素（NO₂）
- 一酸化窒素（NO）
- 一酸化炭素（CO）
- 炭化水素（HC）
- 微小粒子状物質（PM2.5）
- 二酸化硫黄（SO₂）
- 浮遊粒子状物質（SPM）
- 光化学オキシダント（O_x）
- PM2.5成分分析用自動採取装置
- 酸性雨採取装置
- 環境放射能モニタリングポスト



PM2.5 サンプリング装置 モニタリングポスト

その他の機能

～液晶ディスプレイ～



液晶ディスプレイによる表示



あおぞら発見学習の様子

大気移動測定車で測定したデータは、側面の液晶ディスプレイに表示されます。この液晶ディスプレイにはプレゼンテーションソフトウェアを映し出すことができ、環境学習に活用しています。

今年度も7月14日に松茂町立喜来小学校で、5年生40名を対象に、大気移動測定車を用いた「あおぞら発見学習」を開催し、光化学スモッグや、PM2.5、酸性雨など大気汚染に関わる環境問題について授業を行いました。

～テレメータシステム～

通信回線を利用して測定データを送信し、集中管理するテレメータシステムにより、測定データを当センターの中央監視室に収集し、県内の大気汚染情報の常時監視を行っています。

測定データは1時間ごとの測定値として、徳島県のホームページで公開しています。

○「徳島県の大気汚染監視情報」 (<http://www.tokushima-hokancenter.jp/taiki/pc/top/>)